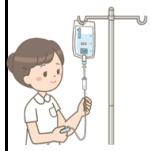
クリニカルパスウェイ
幽門側胃切除術を受ける患者さんへ

2017年4月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

	外科外来	入院日・手術前日	手術当日		術後1日目	術後2～3日目	術後4日目以降	退院後の生活
日時	月　日	月　日	月　日　時頃		月　日	月　日～　月　日	月　日～	月　日
目標	□手術に向け体調を整えましょう □疾患、術式を理解した上で術式選択をしましょう	□手術の準備をしましょう	＜手術前＞ □安全に手術が受けられるよう準備をしましょう	＜手術後＞ □身体の回復を促しましょう	□身体の回復を促しましょう □出来る限りベッドから離れましょう □痛みは我慢せず医療者に伝えてください	□傷の回復を促しましょう □出来る限りベッドから離れましょう □痛みは我慢せず医療者に伝えてください	□傷の回復を促しましょう	□診察後、午前中に退院となります
食事	□特に制限はありません □栄養バランスのとれた食事を心がけてください	□昼まで常食、夕は低残渣食 □夜8時以降絶食 □飲水に関しては麻酔医より指示があります	□絶飲食です 	□絶飲食です	□医師指示にて、氷の摂取が可能となります	□術後2日目飲水の摂取が可能となります □術後3日目流動食より開始となります	□術後4日目　3分粥 □術後5日目　5分粥 □術後6日目　全粥 □術後7日目以降　常食 ＊状況に応じて変更になる可能性があります。医師の指示を確認してください。	□特に制限はありません
活動	□特に制限はありません	□特に制限はありません	□特に制限はありません □手術着に着替えてください	□ベッド上安静です 	□看護師と共に離床しましょう。	□看護師と共に離床しましょう。		□特に制限はありません
検査処置	□手術に必要な検査を行います （採血・尿検査・レントゲン・呼吸機能検査・心電図等）	□必要時、他科の診察があります □お臍の処置があります		□酸素投与を行います □血圧・脈拍・体温を測ります	□採血・レントゲンがあります □血圧・脈拍・体温を3回測ります 	□術後2日目に尿道の管を抜去します □術後3日目に採血・レントゲンがあります □血圧・脈拍・体温を3回測ります	□術後4日頃にドレーンを抜去します □術後7日目採血・抜鉤があります □血圧・脈拍・体温を2回測ります	□外来予約票をお渡しします
薬	□手術前に休薬する薬はがある場合は期日を守ってください □市販薬・サプリメントは手術に影響するものがあるため、2週間前より服用しないでください □入院時に常用薬をお持ちください	□入院後、薬の内容を確認しますのでご持参ください □常用薬は医師の指示に従い、内服してください □薬剤師から薬の説明があります	□常用薬は医師の指示に従い、内服してください 	□常用薬は中止 □抗生剤の点滴をします □適時、痛み止めや吐き気止めの点滴をします	□点滴があります。 	□常用薬は医師の指示に従い、再開します □点滴があります	□術後4日目まで点滴があります 	
清潔	□特に制限はありません 	□入浴してください □爪を切ってください	□入浴はできません	□適時うがいをして、口腔内を清潔にしてください	□入浴はできません □全身を蒸しタオルで拭きます	□下半身シャワーや洗髪ができます 必要時看護師が介助しますので、お声掛けください	□ドレーンが抜けた翌日から全身シャワーに入って大丈夫です。	
指導説明	□入院・手術についての説明があります □喘息やアレルギーがある方は医師・看護師に知らせてください □喫煙されている方は、術後痰が多くなりやすく、傷の回復に影響を及ぼす可能性がありますので禁煙に努めてください	□病棟案内があります □看護師より手術前後の説明があります ＜入院時必要物品＞ □常用薬 □同意書一式 □この説明書 □日常生活物品		□手術部位の管（ドレーン）を引っ張らないように注意しながら、寝返りをうつことができます　身体で管をつぶしたりしないよう気をつけてください	□手術部位の管（ドレーン）を引っ張ったり、身体の下に巻き込んだり、臀部で踏んだりしないよう気をつけてください	□管（ドレーン）を引っ張ったり、身体や臀部で踏まないよう注意してください	□手術後7日目ほどで食事が安定していたら、栄養部から栄養指導を行います。 □看護師より退院後の生活について指導を行います	□創部に発赤や腫脹、熱感、疼痛がある場合は、電話連絡の上、外来受診してください □栄養指導を参考に食事摂取してください □暴飲暴食はしないでください

《連絡先》東京慈恵会医科大学西部医療センター　TEL:03－3480－115
1